

2024 年度 第 2 回 公立大学法人埼玉県立大学教育研究審議会 議事録

1 開催日

2024 年 5 月 7 日(火)

2 開催方法

WEB 会議

3 参加者

星議長、磯田委員、伊藤委員、林委員、金村委員、東委員、濱口委員、田中委員、國澤委員、山崎委員、久保田委員、河村委員、廣渡委員、野中委員

オブザーバー参加:延原情報センター長、北畠地域連携センター長、滑川保健センター長

4 事務局

長岡副局長、濱口財務担当部長、酒井施設管理担当部長、小原教務・入試担当部長、今村学生・就職支援担当部長、中野研究・地域産学連携担当部長、篠原企画・情報担当部長

5 議事概要

【議事録確認】

議長から前回の議事録が提示され、内容について確認された。

【報告事項】

(1)次期認証評価における自己点検・評価報告書について

資料に基づき、伊藤副学長から報告された。

(2)2024 年度科研費の採択状況について

資料に基づき、濱口研究開発センター長から報告された。

○ コロナの影響で研究期間の特別延長が認められているが、それも含めた数値か。

→ コロナによる特別延長だけでなく、平時においても1年間延長できる制度があるが、従前よりそれらを含めた数値としていない。期間を延長している研究は45件あり、科研費採択件数が減った要因の一つかもしれない。本資料においては、中期目標との兼ね合いもありこのような集計の仕方をしているが、大学の研究活動を見る上では、例えば、研究分担者として他大学の教員と一緒にいる研究も集計に含める等の対応も必要だと考えている。

○ 大型研究費の獲得に挑戦したり、民間助成金に応募する教員もいるので、科研費の獲得件数だけでなく、そのような活動にも目を向けていく必要があると思う。

→ 資料にあるとおり、基盤研究(A)や(B)に申請する件数が増えている。目標である採択件数65件は維持しながらも、大型研究の推進・支援・遂行や民間助成金等も含めた研究活

動の進展が今後の本学の課題だと考えている。

【その他】

(1)アントレプレナーシップ教育の推進に係る埼玉大学との情報交換について

久保田教授から説明と依頼があった。

作業療法学科ではアントレプレナーシップ教育を推進しており、それを県内に広げるため、以前より埼玉大学と情報交換をしているところである。引き続きの相談をお願いしたいがいかがか。

→ アントレプレナーシップ教育については、埼玉大学と埼玉県立大学とで連携し県としての取り組みとして発展させていきたいとの話を聞いている。近々、担当教員が埼玉県立大学に相談にいくので対応をお願いしたい。